

安全データシート

作成日：2019年7月17日

1. 化学物質等及び情報提供者

製品名：HI-LUBE（ハイルーブ）FG-L65

情報提供者：

名称：株式会社 ハーベス

住所：埼玉県さいたま市浦和区常盤 9-21-14 パークサイドガクヤビル 6F

担当部門：品質保証部

電話番号：048-824-2821

FAX 番号：048-824-2826

2. 危険・有害性の要約

分類の名称：分類基準に該当しない。

GHS 分類：非該当

注意喚起語：なし

危険有害性情報：非常に高い温度で加熱された場合は、フッ化水素、パーフルオロイソブチレン等の有毒な分解物を生成することがある。

3. 物質の特定

単一製品・混合物の区分：混合物

成分：	含有量(質量%)	CAS No.
基油 パーフルオロポリエーテル	65～75	非開示
増ちょう剤 ポリテトラフルオロエチレン	25～35	非開示
合 計	100	

4. 応急処置

- 目に入った場合：清浄な水で充分洗浄したのち、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合：水と石鹼で付着した部分を洗う。
- 吸入した場合：徴候や症状がでた場合は、新鮮な空気の所へ移動させる。徴候や症状が持続する場合は、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、医師の診断を受ける。
口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。
- 応急処置に関する特記事項：本品は室温では、眼、皮膚、呼吸器系に対しての刺激性はないと考えられる。この評価に関しては、本品を使用中に混入する汚染物質については考慮していない。これらの応急措置は、眼又は皮膚から異物を除去するための基本的な措置です。

5. 火災時の措置

消火方法	： 火災が激しく、本品の熱分解が起こる可能性がある場合は、ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用すること。消火活動中の異常な影響はないと考えられる。火災によって発生した分解物の吸入を避けること。火焰に曝された場合は、容器の破裂を防止するために、霧状の水で容器を冷却する。
消火剤	： 非引火性
火災時の措置に関する特記事項	： 極度の高熱に曝された場合フッ化水素等の有毒な熱分解物を生成する可能性がある。

6. 漏出時の措置

- ・ 周囲より火気を除去する。
- ・ できるだけ空容器に回収し、ウエス等でぬぐい取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	： 熱分解物を吸引しないこと。（石油ストーブ、ガストーブ等熱源のある部屋では使用しないで下さい。） 作業場所での喫煙を禁止し、作業終了後手洗いを充分に行った後喫煙すること。尚、本品の付着したタバコは吸わないで下さい。
摂取防止	： 本品を使用中は、飲食又は喫煙を禁ずる。本品が接触した箇所は、石鹸と水で十分に洗うこと。予期される暴露経路でない。
保管	： 通常の倉庫で保管する。
爆発防止	： 非引火性
取り扱い及び保管上の特記事項	： 本品が 200℃を超える極度の高熱に曝されることを避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

管 理 濃 度	： 規定なし
許 容 濃 度	： 規定なし
設 備 対 策	： ミストが発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設置。
保護具・個人保護：	
呼吸保護具－通常の取り扱い時には不要。	
保 護 眼 鏡－飛沫が飛ぶ場合にはゴーグル型眼鏡を着用する。	
保 護 手 袋－長時間又は繰返し接触する場合には、耐油性のものを着用。	
保 護 衣－特になし。	

9. 物理的及び化学的性質

外 観 等 : 白色ペースト状
滴 点 : なし
揮 発 性 : なし
水 溶 性 : 不溶
引 火 点 : なし
密 度 : 約 1.9g/cm³

10. 危険性情報（安定性・反応性）

引 火 点 : なし
発 火 点 : なし
燃 焼 性 : 不燃性
避 け る べ き 物 質 : 強酸、強アルカリ、ハロゲン等ほとんどの化学薬品に対して安定しています。
有 害 な 分 解 物 : 有害性情報欄を参照
安 定 性 : 安定
反 応 性 : 危険な重合は起こらない。

11. 有害性情報

眼 刺 激 性 : 眼に対する刺激は少ないと考えられる。
皮 膚 刺 激 性 : 皮膚に対する刺激は少ないと考えられる。
吸 入 し た 場 合 : 過熱による熱分解がない場合は、吸入による障害はないと考えられる。
飲 み 込 ん だ 場 合 : 本品は、摂取される可能性は少ない。摂取による障害はないと考えられる。
その他有害性情報 : 本品の一時的熱分解物はフッ化水素及び多フッ素化酸である。300℃以上の温度において本品の熱分解物によりパーフルオロイソブチレン(PFIB)が生成する可能性がある。パーフルオロイソブチレン(PFIB)の発生する割合は、一時的な熱分解物の生成する割合の1/1000以下です。

12. 環境影響情報

生態毒性：この低溶解性物質は水棲微生物に対して毒性は示さない。
毒性の汚染物質を含まない。
そ の 他：特になし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法：関係法規制に従って自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理行者に処分を委託する。リサイクル可能なら再生する。

14. 輸送上の注意

国 連 番 号 : 非該当
国連分類（IMO） : 非該当
国連分類（ICA0） : 非該当
I A T A : 非該当
注 意 事 項 : 取り扱い及び保管上の注意の項に記載した一般的注意による。

15. 適用法令

日本国内法規制(主な適用法令)：非該当

16. その他

参考文献 : JIS Z 7252 : 2014
JIS Z 7253 : 2012
日本産業衛生学会(2010)
ACGIH(2013)
CLP 規則準拠

特記事項 : 危険、有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

この安全データシートは、JIS Z 7253 : 2012 に基づき作成され、本品を正常な条件の下で適切に使用し取り扱うための、最適な情報と作成時における最新のデータを示したものです。記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。取り扱いにはご配慮願います。